

2026

AOMORI

青の煌めきあおもり国スポ

第80回国民スポーツ大会

公開競技
綱引競技

会期 8.22^土 - 23^日

会場 平内町 平内町立体育館



公式マスコット
「アップリート君」

2026 AOMORI

第80回国民スポーツ大会

The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体[※]以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



大会愛称

青の煌めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

スローガン

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

イメージソング「翔けろ未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T. Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、
スターキングデリシャス、
はつ恋ぐりん、金星）

ダンス「青の煌めきダンス」



イメージソング「翔けろ未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！



最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ



Download on the
App Store

GET IT ON
Google Play

Q あおもり国スポ

検索

今すぐ無料ダウンロード！

公式HP



YouTube



目 次

あいさつ	1
歓迎のことば	6
大会役員	9
綱引競技会役員・実行委員会	13
競技役員	14
競技日程	15
開会式・表彰式	16
競技組合せ表	18
試合進行表	24
過去の成績・ブロック別参加状況	26
綱引競技要綱	27
綱引のルール（競技規則）	30
綱引の歴史とオリンピック	31
審判員のシグナルと反則	32
選手名簿	33
会場図	40
J A D A	41
J S P O	42

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

はじめに、本年 7 月 28 日に発生した令和 8 年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年 12 月 8 日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第 80 回国民スポーツ大会は、本年 1 月から 2 月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第 71 回岩手大会以来、10 年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第 25 回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカー FIFA ワールドカップ 2026、第 20 回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔ける未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和 7 年 7 月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環 ～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました 青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

あいさつ



文部科学大臣 松本 洋平

はじめに、令和8年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和100年記念 第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和52年のあすなろ国体以来49年ぶりの青森県での開催となり、「翔ける未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様への御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

(令和8年7月31日現在)

あいさつ



青森県綱引連盟 名誉顧問

衆議院議員 江渡 聡徳

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 翔ける未来へ縄文の風に乗って」綱引競技会が、青森県平内町において盛大に開催されますこと、大変喜ばしく、全国各地からお越しいただきました選手、監督、コーチ並びに関係者の皆様を青森県綱引連盟の名誉顧問としまして心より歓迎を申し上げます。

今年2026は昭和101年、我が青森県の代表的な観光地であります十和田湖を含む八幡平国立公園は、先人の努力により国立公園指定から90年の節目の年を迎えます。

ここ平内町は白鳥が多く飛来する海と山が美しい土地であります。青森は八甲田山や岩木山など、広大な自然が広がり、映画ロケ地としても数多く取り上げられております。

さて、綱引きは、古来より我が国では神事や豊作祈願、住民の融和と交流の一環として行われ、学校や地域コミュニティ行事には欠かせない競技であります。19世紀から20世紀にかけて近代スポーツとしてのルール化が進み、オリンピックでもかつては正式な種目でもありました。

今日では、全国の綱引きを愛する競技者により毎年、全国大会や各ブロック大会、ジュニア大会等が開催されております。

本県の綱引きの歴史をたどりますと、女子チームの横内フレンドや青森はまなす、男子チームの青森梁山泊等のチームが全国制覇を成し遂げ、全国的にもハイレベルな地域でもあります。コロナ禍を経て、競技者の減少やチームの高齢化等の問題はございますが、本大会にご参加の皆様は、日々の練習に励み、チーム一丸となって綱引きをこよなく愛する方々でございます。

どうか、全国それぞれの地域を代表し、日頃のお力を存分に発揮され、青森県民をはじめ、全国の皆さんと親睦交流をはかれ、青森の素晴らしい自然と山海の幸、りんごを堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、御尽力賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘と御活躍を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

あいさつ



日本綱引連盟

会 長 石 井 良 之

本州の最北端、青の煌めきあおもり国スポ綱引競技大会が、令和8年8月、青森県東津軽郡平内町立体育館に於きまして、国スポの先陣を切って盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

2025年6月に改正されたスポーツ基本法（名称も変更）では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。綱引競技に於きましても、まさにその全てを兼ね備えており、各地より厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集おられたアスリートの皆様には、フェアプレーを通じ友情を深め、つながり、本日の国スポ大会を一生の思い出として、地元に戻ってもお話し頂ければ、意義深いものとなります。加えて、開催地青森の魅力を発信する伝道者になっていただきたいと思います。

今日、日本綱引連盟では、綱引をより多くの人に、より深く知ってもらい、実際にやってもらい、そしてその魅力を感じてもらおうべく、「綱引スクール」を全国各地で展開しております。より多くの老若男女の御参加を願い希望するところであります。皆様の健闘を心より期待しております。

結びに、本大会の開催にあたり、関係者各位の皆様方の御支援・御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、挨拶いたします。

あいさつ



東北綱引連盟 会長 石黒 覚

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が、1977年「あすなろ国体」青森大会以来、49年ぶりに盛大に開催されますことに心より深く敬意とお慶びを申し上げる次第でございます。

本大会の開催にあたりまして、ご尽力賜りました関係各位におかれましては衷心より厚く敬意と感謝を申し上げますとともに、大会の大成功と青森県のスポーツ振興が飛躍的に発展致しますことをご祈念致すところでございます。

本年は、ミラノコルティナ冬季オリンピック、FIFA ワールドカップなど世界がスポーツに熱狂する記念すべき2026年でございます。

一方で、ロシアによるウクライナ侵攻から4年が経過、さらにはアメリカ、イスラエルによるイラン攻撃など、スポーツによる平和の祭典に水を差す事態が継続する極めて残念な状況にあることも、忘れてはならないところでございます。

そして、私たち東北にとりましては、未だ復旧復興途上と言わざるを得ない東日本大震災から15年目を迎えたところでございます。6月25日には、岩手県沖を震源とするマグニチュード7.2、最大震度6強の地震が発生し、青森、岩手をはじめ東北各地を震撼させました。

こうした社会情勢の中にあっても、スポーツが私たち人間社会の大きな喜びであり、かけがいのない存在であることは、申し上げるまでもないところでございます。

この度の「青の煌めきあおもり国スポ」におきまして私ども日本綱引連盟並びに東北綱引連盟が進めます「8人制綱引競技」が、公開競技として開催できますことに改めまして心よりの敬意と感謝を申し上げ、ご期待にお応えできる熱戦が繰り広げられますことを、大会関係者の皆様方とともに進めてまいり所存でございます。

結びに、大会参加選手の皆様方のご活躍、関係諸団体並びに大会関係者各位の益々のご発展をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば



青森県知事 宮下 宗一郎

はじめに、令和8年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和100年記念青の煌めき^{きら}あおもり国スポ「第80回国民スポーツ大会」が昭和元年（1926年）から起算して満100年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌めき^{きら}あおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来49年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔ける未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌めき^{きら}一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青の煌めきあおもり国スポ平内町実行委員会会長

平内町町長 船橋 茂久

はじめに、このたびの令和8年熊本地震及び8月千葉豪雨により、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」ゴルフ競技会を、ここ平内町で開催できますことを大変光栄に思います。また、全国各地からお越しいただきました選手、監督、関係者の皆様を、平内町民を代表して心から歓迎申し上げます。

青森県における国スポ開催は、昭和52年の第32回国民体育大会「あすなろ国体」以来、49年ぶり2回目の開催であり、平内町では、正式競技のゴルフ（成年男子）競技会と公開競技の綱引競技を開催いたします。大会開催に際し、大会期間中、当町に訪れるすべての方々を心のこもったおもてなしでお迎えできるよう、準備を進めてまいりました。

出場される選手の皆様には、本大会への出場に向け、日々たゆまぬ努力と磨きあげられた技術を十分発揮され、記憶に残る熱戦が繰り広げられる最高のパフォーマンスを期待しております。

当町は、青森県のほぼ中央に位置し、陸奥湾に面した自然豊かな町で、特に養殖ホタテの生産量は日本一を誇っており、「ホタテの町」として知られております。また、国の特別天然記念物「小湊のハクチョウおよびその渡来地」で知られる浅所海岸や、「ヤブツバキ自生北限地帯」として天然記念物の指定を受けた椿山の裾野に広がる椿山海岸は、日本の渚・百選に選ばれるなど風光明媚な町であります。皆様には、時間の許す限り平内町の魅力も存分に感じていただき、再び本町にお越しいただければ幸いです。

結びに、本競技会の開催にあたり御尽力を賜りました関係者の皆様に、心より感謝を申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様の御健闘と御活躍を御祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青森県綱引連盟

会 長 山 端 一 雄

第 80 回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」が、翔ける未来へ縄文の風に乗ってとのスローガンのもと、開催を心よりお喜び申し上げます。

そして、公開競技として「綱引競技」が青森県平内町で開催できますことは誠に喜ばしく、競技の開催にご尽力いただきました皆さま方に心から感謝申し上げます。

青森県綱引連盟では、古来より我が国で神事や豊作祈願、学校や地域コミュニティ行事として行われてきたつなひきを、日本綱引連盟公認の競技ルールに基づく、近代スポーツとしての競技普及に、審判員を中心に各地域で綱引き競技を愛する愛好者とともに、発展に努めてまいりました。

その甲斐あって、全国大会では横内フレンド（成年女子）や青森はまなす（成年女子）、青森梁山泊（成年男子）等のチームが全国制覇を成し遂げ、全国的にも男女チームの優勝をした貴重な地域であります。今は、むつ下北地域を地盤とするまさかりクラブや稲垣地域を盛り上げるために頑張っている、もっけ達も地域おこしに奮闘しております。

競技者の方達は、仕事の終わった後や休日等、メンバーそれぞれ工夫と体調維持に努め、日々の練習に励み、チーム一丸となって技術力やチームワークの向上に努めております。

全国の各地域を代表し、参加されたチームの皆さん、日頃の鍛えたお力を存分に発揮され、青森県民はもとより、全国の皆さんと様々な場面を通して、ふれあい、交流をはかれ、思い出の多い青森の素晴らしさを味わってください。

結びに、本競技の開催にあたりまして、平内町をはじめ、東北綱引連盟、多くの関係者の皆さまにご支援ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

◇ 大会役員 ◇

2026年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	松本 洋平			
会長	遠藤 利明			
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策
	河合 純一	宮下 宗一郎		
顧問	森 喜朗	安西 孝之	岡崎 助一	越 川 均
	坂 元 要	勝 田 隆	飯 塚 悟	池田 めぐみ
	石井 砂織	植 田 実	浦 美奈子	笠師 久美子
	鹿島 丈博	木 平 芳定	工 藤 保子	久保 正美
	小 寺 洋	櫻井 由香	中 嶋 実	橋本 聖子
	村松 さやか	室 伏 由佳	湯 川 和之	吉岡 成子
	久保 直生	藤 田 裕司	藤 原 誠	室 城 信之
	金子 日出澄	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久
	石丸 元国	多 氣 洋平	井 崎 洋志	鬼頭 有紀子
	長谷川 洋子	吉 田 長寿	齋 木 尚子	多 賀 恒雄
	安 藤 淳	上 治 丈太郎	湧 永 寛仁	三宅 秀一郎
	佐藤 健司	馬 場 美香	堺 充 廣	南 和 文
	宮永 美寿津	千 田 健一	中 里 壮也	岡本 友章
	大 野 淳	永谷 喜一郎	田 村 恒彦	蒔 田 実
	山 崎 勝洋	浅 見 敬子	山 口 徹正	田 中 伸周
	村 田 利衛	建 部 彰弘	市 野 保己	丸 石 博
	中村 ゆり子	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木 村 博美
	井 上 弘	今 川 啓一	近 藤 重和	池 谷 正成
	大澤 明美	古 城 資久	小 野 賢二	園 山 和夫
	中 山 俊行	田 中 徹	知 念 かおる	出 口 弘之
	田 邊 哲人	城 門 政文	前 川 恵	園 田 義宜
	布 村 幸彦	川 原 元則	生 島 典明	大 沢 陽子
	谷 藤 節雄	中 村 伸彦	千 葉 玲佳	奥 山 雅信
	酒 井 祐一	藤 田 知巳	北 條 俊明	田 子 昌之
	新 井 彰	山 崎 成夫	塩 見 清仁	田 名 部 高雄
	井 出 仁	今 西 博一	中 村 宏平	新 保 暢
	森 山 喜博	横 山 幹夫	花 崎 武彦	高 橋 繁浩
	山 本 健次	増 田 和伯	藤 堂 寛	山 本 誠三
	松 本 恭幸	東 直 也	奥 田 晃	横 尾 英治
	小西 慎太郎	近 藤 一幸	堂 本 ひさ美	河 村 祐一

渡邊浩三	田中稔	高岡晃仁	青木章泰
城戸英敏	小柳勝彦	辛木秀子	宮成康藏
若林繁幸	岩元幸成	平良朝治	藤原正樹
新宮領毅	川上隆弘	佐藤幸一	奈良久美
小菅司孝	宇津木純子	菊村裕之	小林立茂樹
寺澤正人	山口かおる	増子敦宏	矢野和彦
柿田恭良	茂里毅郎	浅野敦行	津島匡淳
神田潤一	木村次郎	江渡藤聰	田名部知子
福士珠明	山中秀記	工濱館豊光	風崎寿一
横町俊進	西本木温二	有森田東一	鈴木須和泰
宮本恒靖	深澤田直志	坂島田丸恭文	富山道真一人
川合俊弘	藤岡良章	金後藤砂弘	中田川善弘
馬場正也	砂田井正淳	真世久北	土笹丹羽秀裕
河田幸男	大野居光有司	吉村美祐	北村野元英世
町田富宏	岩城田富可子	遠藤田嵩加二	大花角野秀剛
津賀一也	鶴田實之義隆	岡石谷脇隆俊	熊谷田部守恭彦
達増拓彦	福小谷野口祥健	西宮迫大平	伊藤藤元達純
大井川俊朗	越宗裕次郎	大塚田康一	丸山田誠益直
熊新阿伊斎丸後服麻	山野橋谷宗田原日		

参 与	子己勝子樹平昭一雪一郎治司博史義正剛太子彦晶全信春浩昭子樹一浩一郎樹	圭祐正陽由悠孝修深嘉直寛猛久泰恒静勝孝忠嘉千れい本史敬直礼智慶大	井部沢平向藤橋端堀士田浦木藤本杉野藤尾上崎	粂阿蛭大北工斉高田夏福山和安三舩工佐山堤高宮佐七三外
	子美明佑人安爾子貴一裕文雄晴文幸豐司一人司哉造一也	住晴光大和清紀谷浩井清忠史雄信貴英保裕琢純健伸	杉藤崎原藤畑賀堀井田本葉島林田場藤村橋藤木	大安大笠木後齊高鶴夏丸山奥松千豊栗安津橋工田倉佐高
委 員 長 副 委 員 長 總 務 委 員	香之彦勲光博郎男修介保留洋美穗司一潮力修城浩彦貞久一	美貴敏兼悦部定栄之恵美健謙山内龍泰智利智幸	田本澤池藤水名坂内侯慈谷沢田山口浪村引藤関	廣井大菊工今清水田夏花森吉平久細上築大小山川里櫛工小
	一宏悟子正規博造也光三圭之桂文男明一子吾正史助	宇信祥村ユキ卷正博達陽一ゆかり圭博文子孝国正伸敬伸善裕之	村吹澤村引比内中田成三吉大後秋新東米目中一岡高	中伊大川櫛小鹿田寺成三吉大後秋新東米目中一岡高
委 員 長 副 委 員 長 總 務 委 員	弘子武行忠	英基勝本	笠野田野本	出崎垣崎福田内橋井
	夫雄道稔也晴紀	和公博一慎千和	崎垣崎福田内橋井	出崎垣崎福田内橋井

委 員	平	野	了	高	橋	聖	一	永	井	雅	史	神	山	康	洋
	福	士	幸	栗	原	崇	勉	竹	ノ	脇	智	鈴	木	克	宜
	葛	西	玲	濱	野			寺	澤		淳	黒	川	重	男
	舟	喜	信	福	島	亮	一	中	梶	秀	則	堀	越		浩
	加	藤	憲	宮	川	良	輔	鈴	木	章	広	川	口	巖	
	山	口	俊	岡	泉	茂		朝	倉	康	善	木	塚	鉄	也
	平	井	宏	濱	崎	滿		岸	川	剛	之	西	原	斗	男
	山	口	鉄	菅	原	正	幸	伊	東	毅	嗣	長	南	哲	生
	衛	藤	敬	上	久	保	僚	中	段	亜	由	鈴	木	信	吾
	内	田	淳	関	根	明	子	中	山	二	三	崎	村	尚	人
	吉	田	由	杉	本	好	二	國	重	さ	ゆ	高	梨	治	紀
	川	口	雅	田	邊	賢	一	山	口		剛	富	澤	佑	也
	政	岡	航	坊	百	花	信	井	澤	貫	太	田	口	雅	紀
	寺	垣	佑	柿	崎	繁	史	橋	口	真	夕	田	中	遥	太
	町	屋	毅	山	本	高	浩	松	橋	伸	哉	長	谷	川	光
	白	幡	博	田	畑	幸	輔	加	藤	雄	樹	小	林	健	也
	幸	田	和	大	貫	大	美	小	池	則	之	今	井	隆	元
	三	浦	理	舟	木	雅	子	阿	部	哲	久	片	岡	英	史
	福	居	志	三	武	紀	伸	長	坂	嘉	也	井	澤	克	行
	林	剛	史	稻	葉	晴	也	森	島	哲	也	和	智	敏	文
	中	野	真	佐	々	木	智	木	原	哲	博	越	本	守	正
	小	林	悟	中	嶋	純	也	前	田	康	之	松	藤	泰	
	松	本	綾	中	田	健	治	石	津	雅	朗	加	井	康	行
	高	田	孝	日	野	利	行	前	田	義	宏	笠	野	賢	郎
	尾	鷺	一	川	端	尚	史	黒	田	裕	史	吉	野	瑞	洋
	都	甲	尚	山	元	憲	正	千	葉	雅	也	高	間	裕	晃
	遠	藤	信	角	屋	真	司	加	藤	木	克	菅	澤	宏	之
	岡	崎	正	角	田	憲	司	藤	丸	伸	和	柄	野	公	紀
	杉	田	聡	塩	田	知	己	井	上	哲	守	河	後	元	彦
	碓	井	稔	武	田	長	右	松	井	雅	巳	今	岡	直	彦
	沼	田	守	田	部	目	憲	寺	崎	淳	一郎	吉	島	祥	嗣
	高	岡	晃	葛	江	公	一	黒	木			田	間	敏	生
	荒	木	健	平								城			
	丹	羽	浩												

◇ 綱引競技会役員 ◇

大会会長	日本綱引連盟会長	石井 良之
大会副会長	日本綱引連盟副会長	江畑 芳幸 石山なほみ
	青森県綱引連盟会長	山端 一雄
名誉顧問	衆議院議員	江渡 聡徳
大会顧問	平内町長	船橋 茂久
	平内町教育委員会教育長	渡辺 伸一
	青森県綱引連盟青森市支部顧問	関 貴光
	東北綱引連盟会長	石黒 覚 (山形県綱引連盟副会長)
	東北綱引連盟理事	佐々木勝美 (岩手県綱引連盟会長)
		阿部 吉則 (宮城県綱引連盟会長)
		櫻庭 星治 (秋田県綱引連盟会長)
		二藤部 洋 (山形県綱引連盟会長)
		赤石澤啓雅 (福島県綱引連盟会長)
	東北綱引連盟事務局長	横山 巧 (山形県綱引連盟)
委員	日本綱引連盟専務理事	中山二三男
	日本綱引連盟常務理事	高橋 正男
	日本綱引連盟理事	安齋 一二 落合 博彦 上杉 初男
		木村 博美 里内 博文 一瀬さとみ
		後藤 正美 橋本 政和 菊地 玲子
		渡部 明宏 福田 幸夫
	日本綱引連盟監事	幡地 央次 島渚 裕一

◇ 実行委員会 ◇

実行委員	日本綱引連盟専務理事	中山二三男
	日本綱引連盟常務理事	高橋 正男
	日本綱引連盟理事	落合 博彦 (山口県綱引連盟会長)
	日本綱引連盟理事	後藤 正美 (山形県綱引連盟理事長)
	日本綱引連盟理事	安齋 一二 (福島県綱引連盟副会長・理事長)
	青森県綱引連盟会長	山端 一雄
	秋田県綱引連盟会長	櫻庭 星治
	秋田県綱引連盟副会長	鈴木 耕一
	岩手県綱引連盟理事長	千田 芳紀
	宮城県綱引連盟理事長	渡邊 明
	青森県綱引連盟副理事長	倉内喜代治 (青森県綱引連盟事務局長)
	日本綱引連盟事務局	月見里綾乃
	青の煌めきあおもり国スポ平内町実行委員会事務局	小林 正人
	青の煌めきあおもり国スポ平内町実行委員会事務局	片山 潤一
	青の煌めきあおもり国スポ平内町実行委員会事務局	江戸 健二

◇ 競技役員 ◇

競技委員長	日本綱引連盟専務理事	中山二三男（東京都）
競技副委員長	日本綱引連盟理事	安齋 一二（福島県）
審判長	鈴木 耕一（秋田県）	
審判部長	千葉 諭（秋田県）	
審判員		
Aレーン主任	大野 功（福島県）	Aレーンサブ主任 益子 雄光（秋田県）
	木村 博美（東京都）	羽田美由紀（鹿児島県） 安藤 勇一（秋田県）
	萬沢 彰仁（石川県）	中島 幸雄（岩手県）
Bレーン主任	大原 章弘（山形県）	Bレーンサブ主任 石井 義則（秋田県）
	一丸タヅ子（長崎県）	大道せつ子（宮崎県） 小野田由美子（福島県）
	梶田 正則（宮城県）	菅原 義秀（岩手県）
競技部長	日本綱引連盟常務理事	高橋 正男（群馬県）
競技副部長	日本綱引連盟理事	後藤 正美（山形県）
総務部長	青森県綱引連盟会長	山端 一雄（青森県）
総務副部長	千葉県綱引連盟	松井 孝夫（千葉県）
役員	◎は担当主任	
本部記録	◎櫻井智恵子（群馬県）	小野田恵佳（福島県） 高橋 正男（群馬県）
	後藤 正美（山形県）	
選手招集	◎今 清文（神奈川県）	伊藤 次直（山形県） 石川 大輔（青森県）
	中野渡勝高（青森県）	
レーン記録	◎川村 清仁（青森県）	小山内 典（青森県） 古賀 征二（千葉県）
	伊藤さつき（山形県）	
レーン管理	◎橋本 政和（群馬県）	宮原 育郎（秋田県） 三上 保彦（青森県）
	松森 光広（青森県）	新堂 一彦（青森県）
総務	◎櫻庭 星治（秋田県）	横山 巧（山形県） 福田 幸夫（宮崎県）
	倉内喜代治（青森県）	石黒 覚（山形県） 阿部 吉則（宮城県）
	石川ゆう子（アップリート君）	石川 陽菜（アップリート君）
式典	◎落合 博彦（日本連盟）	石山なほみ（静岡県）
受付	◎青の煌めきあおもり国スポ平内町実行委員会	
補助業務	◎山崎由美子（青森県）	野口 浩子（青森県） 寺嶋 志枝（青森県）
（会場警備）	青の煌めきあおもり国スポ平内町実行委員会	
救護	栗原 房子（群馬県）	（看護師）
M C	隅 亜希子（東京都）	
M C 補佐	渡邊 明（宮城県）	
事務局	月見里綾乃（日本綱引連盟）	田中 清美（日本綱引連盟）

◇ 競技日程 ◇

会場 平内町立体育館

計 量 8月22日(土) 10時00分 ・ 8月23日(日) 8時30分

審判会議 8月22日(土) 9時00分 ・ 8月23日(日) 8時00分

代表者会議 8月22日(土) 10時30分 ・ 8月23日(日) 9時00分

8月22日(土)

時刻	日 程 A・Bレーン
8:00	
8:30	
9:00	競技役員集合・審判会議
9:30	↓
10:00	受付・計量
10:30	↓
11:00	代表者会議
11:30	↓
12:00	休憩
12:30	↓
13:00	開会式
13:30	↓
14:00	競技開始準備
14:30	少年男子の部・少年女子の部 予選リーグ 6試合
15:00	成年男女混合の部 予選リーグ 16試合
15:30	↓
16:00	少年男子の部・少年女子の部・成年男女混合の部 決勝トーナメント 1回戦1試合／2回戦4試合／準決勝4試合
16:30	少年男子の部・少年女子の部・成年男女混合の部 3位決定戦 2試合 決勝戦 2試合
17:00	少年男子の部・少年女子の部・成年男女混合の部 表彰式 閉会式
17:30	
18:00	

8月23日(日)

時刻	日 程 A・Bレーン
8:00	競技役員集合・審判会議
8:30	↓
9:00	受付・計量
9:30	↓
10:00	代表者会議
10:30	↓
11:00	開会式
11:30	↓
12:00	競技開始準備
12:30	成年男子の部 予選リーグ 21試合
13:00	成年女子の部 予選リーグ 10試合
13:30	↓
14:00	休憩
14:30	↓
15:00	成年男子の部・成年女子の部 決勝トーナメント 1回戦4試合／準決勝4試合
15:30	成年男子の部・成年女子の部 3位決定戦 2試合 決勝戦 2試合
16:00	成年男子の部・成年女子の部 表彰式 閉会式
16:30	
17:00	
17:30	
18:00	

■ 表彰式

8月22日(土)

16時00分

【少年男子】

〃

〃

【少年女子】

〃

〃

【男女混合】

8月23日(日)

14時45分

【成年男子】

〃

〃

【成年女子】

◇ 開 会 式 ・ 表 彰 式 ◇

8月22日（土）【成年男女混合・少年男子・少年女子】

開会式（12：00～）

1. 選手集合・役員整列
2. 選手整列
- チーム紹介
4. 開会宣言
5. 国家斉唱
6. 主催者あいさつ
7. 歓迎の言葉
8. 来賓あいさつ
9. 来賓紹介
10. 審判長注意
11. 選手宣誓
12. 開会式終了

表彰式（16：00～）

1. 選手集合・役員整列
2. 開会
3. 成績発表
4. 表彰
5. 閉会あいさつ
6. 閉会宣言

※競技の進行により、開始時間が前後する場合があります。

8月23（日）【成年男子・成年女子】

開会式（09：30～）

1. 選手集合・役員整列
2. 選手整列
3. チーム紹介
4. 開会宣言
5. 国家斉唱
6. 主催者あいさつ
7. 歓迎の言葉
8. 来賓あいさつ
9. 来賓紹介
10. 審判長注意
11. 選手宣誓
12. 開会式終了

表彰式（14：45～）

1. 選手集合・役員整列
2. 開会
3. 成績発表
4. 表彰
5. 閉会あいさつ
6. 閉会宣言

※競技の進行により、開始時間が前後する場合があります。

チームエントリー

		No.	チーム名	ブロック
成年男子 600kg	A 3	1	青 森 県	開催県
	A 5	2	宮 城 県	東北 1
	A 2	3	福 島 県	東北 2
	A 4	4	東 京 都	関東 1
	A 6	5	埼 玉 県	関東 2
	A 1	6	石 川 県	北信越
	A 7	7	秋 田 県	東北 3

成年女子 500kg	B 4	9	秋 田 県	東北 1
	B 2	10	岩 手 県	東北 2
	B 3	11	神奈川県	関 東
	B 5	12	石 川 県	北信越
	B 1	13	福 岡 県	九 州

少年男子 560kg	C 1	1	青 森 県	開催県
	C 2	2	大 阪 府	近 畿
	C 3	3	広 島 県	中 国

少年女子 480kg	C 4	1	秋 田 県	東 北

男女混合 580kg	E 1	1	青 森 県	開催県
	E 4	2	福 島 県	東北 2
	E 5	3	茨 城 県	関 東
	E 3	4	石 川 県	北信越 1
	E 2	5	鹿児島県	九 州
	F 3	6	岩 手 県	東北 1
	F 1	7	山 形 県	東北 3
	F 4	8	富 山 県	北信越 2
	F 2	9	大 阪 府	近 畿

ブロック組合せ

成年男子の部（600kg）

Aブロック

	No.	チーム名	都道府県
A 1	1	石 川 県	北信越
A 2	2	福 島 県	東北 2
A 3	3	青 森 県	開催県
A 4	4	東 京 都	関東 1
A 5	5	宮 城 県	東北 1
A 6	6	埼 玉 県	関東 2
A 7	7	秋 田 県	東北 3

成年女子の部（500kg）

Bブロック

	No.	チーム名	都道府県
B 1	1	福 岡 県	九 州
B 2	2	岩 手 県	東北 2
B 3	3	神奈川県	関 東
B 4	4	秋 田 県	東北 1
B 5	5	石 川 県	北信越

少年男子の部（560kg）・少年女子の部（480kg）

C・Dブロック

	No.	チーム名	都道府県
C 1	1	青 森 県	開催県
C 2	2	大 阪 府	近 畿
C 3	3	広 島 県	中 国
C 4	4	秋 田 県	東 北

※No. 1～3は少年男子の部（560kg）

No. 4は少年女子の部（480kg）

少年女子の部（480kg）

Dブロック

	No.	チーム名	都道府県
D 1	1	秋 田 県	東 北

※試合は、Cブロックの少年男子の部で行う。

男女混合の部（580kg）

Eブロック

	No.	チーム名	都道府県
E 1	1	青 森 県	開催県
E 2	2	鹿児島県	九 州
E 3	3	石 川 県	北信越 1
E 4	4	福 島 県	東北 2
E 5	5	茨 城 県	関 東

Fブロック

	No.	チーム名	都道府県
F 1	1	山 形 県	東北 3
F 2	2	大 阪 府	近 畿
F 3	3	岩 手 県	東北 1
F 4	4	富 山 県	北信越 2

◇ 予選リーグ 組合せ ◇

少年男子の部（５６０kg）

C ブロック

No.	都道府県名	都道府県
1	青 森 県	開催県
2	大 阪 府	近 畿
3	広 島 県	中 国
4	秋 田 県	東 北

※No. 1～3 は少年男子の部（５６０kg）

No. 4は少年女子の部（４８０kg）

少年女子の部（４８０kg）

D ブロック

No.	都道府県名	都道府県
1	秋 田 県	東 北

C 4

男女混合の部（５８０kg）

E ブロック

No.	都道府県名	都道府県
1	青 森 県	開催県
2	鹿 児 島 県	九 州
3	石 川 県	北信越 1
4	福 島 県	東北 2
5	茨 城 県	関 東

F ブロック

No.	都道府県名	都道府県
1	山 形 県	東北 3
2	大 阪 府	近 畿
3	岩 手 県	東北 1
4	富 山 県	北信越 2

F 1

F 2

F 3

F 4

成年男子の部（６００kg）

A ブロック

No.	都道府県名	都道府県
1	石 川 県	北信越
2	福 島 県	東北 2
3	青 森 県	開催県
4	東 京 都	関東 1
5	宮 城 県	東北 1
6	埼 玉 県	関東 2
7	秋 田 県	東北 3

成年女子の部（５００kg）

B ブロック

No.	都道府県名	都道府県
1	福 岡 県	九 州
2	岩 手 県	東北 2
3	神 奈 川 県	関 東
4	秋 田 県	東北 1
5	石 川 県	北信越

B 1

B 2

B 3

B 4

B 5

◇ 少年男子 組合せ表 ◇

8月22日(土)

予選リーグ Cブロック

No.	都道府県名	所 属	1	2	3	4	勝	負	順位
1	青 森 県	開 催 県							
2	大 阪 府	近 畿							
3	広 島 県	中 国							
4	秋 田 県	東 北							

※No. 1～3は少年男子の部（560kg）、No. 4は少年女子の部（480kg）

決勝トーナメント

準決勝・決勝は3セットマッチとする

都 道 府 県 名	1 回 戦	準 決 勝	決 勝	
C 1 位		A34 14:30	A38 15:10	
C 4 位				
C 3 位		B34 14:30	3 位 決 定 戦	
C 2 位				
A34 敗者			A36 14:50	
B34 敗者				

◇ 少年女子 組合せ表 ◇

8月22日(土)

予選リーグ Dブロック

No.	都道府県名	所 属	1	勝	負	順位
1	秋 田 県	東 北				

※少年女子の部（480kg）は、1チームの為、Cブロック少年男子の部（560kg）No. 4に組み入れる。

決勝トーナメント

準決勝・決勝は3セットマッチとする

都 道 府 県 名		決 勝		
D 1 位				

◇ 成年男女混合 組合せ表 ◇

8月22日(土)

予選リーグ Eブロック

No.	都道府県名	所 属	1	2	3	4	5	勝	負	順位
1	青 森 県	開 催 県								
2	鹿 児 島 県	九 州								
3	石 川 県	北信越 1								
4	福 島 県	東 北 2								
5	茨 城 県	関 東								

予選リーグ Fブロック

No.	都道府県名	所 属	1	2	3	4	勝	負	順位
1	山 形 県	東 北 3							
2	大 阪 府	近 畿							
3	岩 手 県	東 北 1							
4	富 山 県	北信越 2							

決勝トーナメント

準決勝・決勝は3セットマッチとする

都 道 府 県 名	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	決 勝
E 1 位				
F 4 位		A 33 14:25		
E 5 位	A 31 14:15		A 35 14:40	
F 2 位		B 33 14:25		
E 3 位			A 39 15:20	
F 3 位		A 32 14:20		
E 2 位			B 35 14:40	
E 4 位		B 32 14:20		
F 1 位				
A 35 敗者				3 位 決 定 戦
B 35 敗者			A 37 15:00	

◇ 成年男子 組合せ表 ◇

8月23日(日)

予選リーグ Aブロック

No.	都道府県名	所 属	1	2	3	4	5	6	7	勝	負	順位
1	石 川 県	北 信 越										
2	福 島 県	東 北 2										
3	青 森 県	開 催 県										
4	東 京 都	関 東 1										
5	宮 城 県	東 北 1										
6	埼 玉 県	関 東 2										
7	秋 田 県	東 北 3										

決勝トーナメント

準決勝・決勝は3セットマッチとする

都 道 府 県 名	1 回 戦	準 決 勝	決 勝	
A 1 位				
A 5 位		A 34 13:35		
A 4 位	A 31 13:15		A 38 14:15	
A 3 位				
A 6 位	A 32 13:20	B 34 13:35		
A 7 位				
A 2 位	B 32 13:20			
A 34 敗者			3 位 決 定 戦	
B 34 敗者			B 36 13:55	

◇ 成年女子 組合せ表 ◇

8月23日(日)

予選リーグ Bブロック

No.	都道府県名	所 属	1	2	3	4	5	勝	負	順位
1	福 岡 県	九 州								
2	岩 手 県	東 北 2								
3	神 奈 川 県	関 東								
4	秋 田 県	東 北 1								
5	石 川 県	北 信 越								

決勝トーナメント

準決勝・決勝は3セットマッチとする

都 道 府 県 名	1 回 戦	準 決 勝	決 勝	
B 1 位				
B 4 位		A 33 13:25		
B 3 位			A 37 14:05	
B 5 位	B 31 13:15	B 33 13:25		
B 2 位				
A 33 敗者			3 位 決 定 戦	
B 33 敗者			A 35 13:45	

◇ 試合進行表 ◇

8月22日(土)

A レーン 1日目

※Fブロック男女混合(580kg)

8月22日(土) ※C&Dブロック少年男子(560kg)・女子(480kg)

試合 No.	試合 時刻	ブロック	Lサイド				勝敗		勝敗	Rサイド			
			都道府県名							都道府県名			
1	12:45	F	F1	山形県				×		F2	大阪府		
2	12:50	F	F3	岩手県				×		F4	大分県		
3	12:55	C	C1	青森県				×		C2	大阪府		
4	13:00	C	C3	広島県				×		C4	秋田県		
5	13:05	F	F3	岩手県				×		F1	山形県		
6	13:10	F	F4	富山県				×		F2	大阪府		
7	13:15	C	C3	広島県				×		C1	青森県		
8	13:20	C	C4	秋田県				×		C2	大阪府		
9	13:25	F	F1	山形県				×		F4	大分県		
10	13:30	F	F2	大阪府				×		F3	岩手県		
11	13:35	C	C1	青森県				×		C4	秋田県		
12	13:40	C	C2	大阪府				×		C3	広島県		
決勝トーナメント													
試合No. 31～33及び36～37は、1セットマッチ、No. 34～35及び38～39は、3セットマッチ													
31	14:15	1回戦	F4位					×		E5位			
32	14:20	2回戦	F3位					×		E2位			
33	14:25	2回戦	E1位					×		A31勝者			
34	14:30	少年	C1位					×		C4位			
		男・女						×					
		準決勝						×					
35	14:40	成年	A33勝者					×		B33勝者			
		混合						×					
		準決勝						×					
36	14:50	少年	A34敗者					×		B34敗者			
		男・女						—	—				
		3位決						—	—				
37	15:00	成年	A35敗者					×		B35敗者			
		混合						—	—				
		3位決						—	—				
38	15:10	少年	A34勝者					×		B34勝者			
		男・女						×					
		決勝						×					
39	15:20	成年	A35勝者					×		B35勝者			
		混合						×					
		決勝						×					

B レーン 1日目

※Eブロック男女混合(580kg)

試合 No.	試合 時刻	ブロック	Lサイド				勝敗		勝敗	Rサイド			
			都道府県名							都道府県名			
1	12:45	E	E1	青森県			×		E2	鹿児島県			
2	12:50	E	E3	石川県			×		E4	福島県			
3	12:55	E	E5	茨城県			×		E1	青森県			
4	13:00	E	E2	鹿児島県			×		E3	石川県			
5	13:05	E	E4	福島県			×		E5	茨城県			
6	13:10	E	E1	青森県			×		E3	石川県			
7	13:15	E	E5	茨城県			×		E2	鹿児島県			
8	13:20	E	E4	福島県			×		E1	青森県			
9	13:25	E	E3	石川県			×		E5	茨城県			
10	13:30	E	E2	鹿児島県			×		E4	福島県			
決勝トーナメント													
試合No. 32～33は、 1 セットマッチ、 No. 34～35は、 3 セットマッチ													
32	14:20	2回戦	E4位							F1位			
33	14:30	2回戦	F2位							E3位			
34	14:40	少年	C3位					×		C 2 位			
		男・子						×					
		準決勝						×					
35	14:50	成年	A32勝者					×		B32勝者			
		混合						×					
		準決勝						×					

A レーン 2日目

8月23日(日)
Aブロック 成年男子の部 (600Kg)

試合 No.	試合 時刻	ブロック	Lサイド					勝敗		勝敗	Rサイド			
			都道府県名								A2			
1	10:30	A	A1	石	川	県		×		A2	福	島	県	
2	10:35	A	A3	青	森	県		×		A4	東	京	都	
3	10:40	A	A5	宮	城	県		×		A6	埼	玉	県	
4	10:45	A	A7	秋	田	県		×		A1	石	川	県	
5	10:50	A	A2	福	島	県		×		A3	青	森	県	
6	10:55	A	A4	東	京	都		×		A5	宮	城	県	
7	11:00	A	A6	埼	玉	県		×		A7	秋	田	県	
8	11:05	A	A1	石	川	県		×		A4	東	京	都	
9	11:10	A	A2	福	島	県		×		A5	宮	城	県	
10	11:15	A	A3	青	森	県		×		A6	埼	玉	県	
11	11:20	A	A4	東	京	都		×		A7	秋	田	県	
12	11:25	A	A5	宮	城	県		×		A1	石	川	県	
13	11:30	A	A6	埼	玉	県		×		A2	福	島	県	
14	11:35	A	A7	秋	田	県		×		A3	青	森	県	
15	11:40	A	A2	福	島	県		×		A4	東	京	都	
16	11:45	A	A6	埼	玉	県		×		A1	石	川	県	
17	11:50	A	A3	青	森	県		×		A5	宮	城	県	
18	11:55	A	A7	秋	田	県		×		A2	福	島	県	
19	12:00	A	A4	東	京	都		×		A6	埼	玉	県	
20	12:05	A	A1	石	川	県		×		A3	青	森	県	
21	12:10	A	A5	宮	城	県		×		A7	秋	田	県	
決勝トーナメント														
試合No. 31～32及び35～36は、1セットマッチ、No. 33～34及び37～38は、3セットマッチ														
31	13:15	1回戦	A5位						×		A4位			
32	13:20	1回戦	A3位						×		A6位			
33	13:25	成年 女子 準決勝	B1位						×		B4位			
									×					
									×					
34	13:35	成年 男子 準決勝	A1位						×		A31勝者			
									×					
									×					
35	13:45	成年 女子 3位決	A33敗者							—	B33敗者			
								—		—				
									×					
36	13:55	成年 男子 3位決	A34敗者						×		B34敗者			
								—		—				
								—		—				
37	14:05	成年 女子 決勝	A33勝者						×		B33勝者			
									×					
									×					
38	14:15	成年 男子 決勝	A34勝者						×		B34勝者			
									×					
									×					

B レーン 2日目

8月23日(日)
Bブロック 成年女子の部 (500Kg)

試合 No.	試合 時刻	ブロック	Lサイド					勝敗		勝敗	Rサイド			
			都道府県名								A2			
1	10:30	B	B1	福	岡	県		×		B2	岩	手	県	
2	10:35	B	B3	神	奈	川	県		×		B4	秋	田	県
3	10:40	B	B5	石	川	県		×		B1	福	岡	県	
4	10:45	B	B2	岩	手	県		×		B3	神	奈	川	県
5	10:50	B	B4	秋	田	県		×		B5	石	川	県	
6	10:55	B	B1	福	岡	県		×		B3	神	奈	川	県
7	11:00	B	B5	石	川	県		×		B2	岩	手	県	
8	11:05	B	B4	秋	田	県		×		B1	福	岡	県	
9	11:10	B	B3	神	奈	川	県		×		B5	石	川	県
10	11:15	B	B2	岩	手	県		×		B4	秋	田	県	
決勝トーナメント														
試合No. 31～32は、1セットマッチ、No. 33～34は、 3セットマッチ														
31	13:15	1回戦	B3位						×		B5位			
32	13:20	1回戦	A7位						×		A2位			
33	13:25	成年 女子 準決勝	B31勝者						×		B2位			
									×					
									×					
									×					
34	13:35	成年 男子 準決勝	A32勝者						×		B32勝者			
									×					
									×					

◇ 国スポ綱引競技 過去の成績 ◇

実施大会	順位	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	成年男女混合
2025年 滋賀大会	1位	和歌山県	滋賀県	和歌山県	秋田県	滋賀県
	2位	福井県	福井県	大阪府	広島県	岩手県
	3位	滋賀県	秋田県	福井県	京都府	鹿児島県
2024年 佐賀大会	1位	兵庫県	石川県	兵庫県	秋田県	岩手県
	2位	東京都	秋田県		広島県	富山県
	3位	石川県	大分県			福岡県
2023年 鹿児島大会	1位	福井県	石川県	愛知県	秋田県	福井県
	2位	兵庫県	秋田県	広島県	鹿児島県B	岩手県
	3位	山梨県	大分県	鹿児島県	鹿児島県A	大分県
2022年 栃木大会	1位	宮城県	秋田県			石川県
	2位	福井県	神奈川県			福井県
	3位	神奈川県	岩手県			岩手県
2019年 茨城大会	1位	京都府	秋田県	長野県	秋田県	福井県
	2位	福井県	東京都	茨城県A	広島県	東京都B
	3位	東京都	群馬県	茨城県B	茨城県	岩手県
2018年 福井大会	1位	京都府	福井県A	福井県A	秋田県	福井県B
	2位	福井県A	石川県	福井県B	福井県	福井県A
	3位	富山県	秋田県	広島県	広島県	秋田県
2017年 愛媛大会	1位	京都府	石川県	愛媛県B	愛媛県C	福井県
	2位	東京都	大分県	愛媛県A	愛媛県B	秋田県
	3位	福井県	東京都	香川県	愛媛県A	福岡県
2016年 岩手大会	1位	福井県	福井県	香川県	秋田県	福井県
	2位	京都府	秋田県	群馬県	岩手県	宮城県
	3位	秋田県	大分県	岩手県		和歌山県
2015年 和歌山大会	1位	大阪府	大阪府	北海道	和歌山県	兵庫県
	2位	富山県	大分県	香川県	北海道	福井県
	3位	東京都	福井県	静岡県	大分県	和歌山県

◇ ブロック別参加状況 ◇

ブロック	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	成年男女混合	参加チーム
北海道						0
東北	秋田県 宮城県 福島県	秋田県 岩手県		秋田県	岩手県 山形県 福島県	9
関東	東京都 埼玉県	神奈川県			茨城県	4
北信越	石川県	石川県			石川県 富山県	4
東海						0
近畿			大阪府		大阪府	2
中国			広島県			1
四国						0
九州		福岡県			鹿児島県	2
開催県	青森県		青森県		青森県	3
計	7	5	3	1	9	25

綱引競技要綱

1 期 日 2026年8月22日（土）から8月23日（日）まで（2日間）

種 別	8月22日(土)	8月23日(日)
成 年 男 子		予選リーグ／決勝トーナメント
成 年 女 子		予選リーグ／決勝トーナメント
少 年 男 子	予選リーグ／決勝トーナメント	
少 年 女 子	予選リーグ／決勝トーナメント	
成年男女混合	予選リーグ／決勝トーナメント	

2 会 場 平内町 平内町立体育館

3 種別（種目）及び参加人員

種 別	種 目	監 督	選 手	チーム数	小 計	合計(人)
成 年 男 子	600kg以下	1	10	10	110	550
成 年 女 子	500kg以下	1	10	10	110	
少 年 男 子	560kg以下	1	10	10	110	
少 年 女 子	480kg以下	1	10	10	110	
成年男女混合	580kg以下	1	10	10	110	

4 競技上の規程及び方法

（1）競技種目

成年男子600kg以下、成年女子500kg以下、少年男子560kg以下、少年女子480kg以下、成年男女混合580kg以下のクラス体重により行われる。

（2）競技規則

2026年度公益社団法人日本綱引連盟競技規則による。

（3）競技方法

予選リーグ及び決勝トーナメント方式とする。予選リーグ及び決勝トーナメント準々決勝、3位決定戦までは1セットマッチ、準決勝及び決勝戦は3セットマッチで実施する。

（4）計量

成年男女混合、少年男女は当日計量とする。成年男女は前日計量又は当日計量とする。

（5）チーム名

チーム名は、都道府県名のみとする。

5 予選方法

北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州の9ブロックから、各種目1チームの出場とする。ただし、開催県（青森県）を含むブロックは、さらに各種目について1チームを出場させる。

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 成年種別に参加する者は、2008年4月1日以前に生まれた者とする。
- (2) 少年種別に参加する者は、2008年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者とする。
- (3) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2026年4月1日を基準とする。
- (4) 成年男女混合種別に参加するチームの編成は、選手男子女子各4名、交代選手男女各1名、監督1名とする。
- (5) 成年種別に参加する者及び全種別の監督は2026年度競技者登録を完了している者とする。なお、成年種別の監督については、選手が10人に満たない場合は選手を兼ねることができる。
- (6) 各種別のチームには、公益財団法人日本スポーツ協会公認綱引コーチ1資格保有者が、必ず1名在籍していること。ただし、少年の部はブロック内コーチ1保有者（会場内帯同）も認める。2025・2026年度コーチ1受講者及び学校単位での教諭の帯同も認める。

7 表 彰

各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

8 参加申込方法

出場するチームは、所定の「参加申込書」に必要事項を記入の上、2026年6月19日（金）までに下記宛てに郵送又は電子メールで提出すること。

申 込 先	宛 先	提出部数
公益社団法人 日本綱引連盟	〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 408号 TEL. 03-5843-0457 E-mail: jtwf@tsunahiki.net	1 部

- (1) 2026年4月17日（金）より申込受付を開始する。
- (2) 参加申込締切後の監督、選手の変更は、疾病、傷害、妊娠等の特別な場合に限り認めるものとし、診断書を提出する。その届出は代表者会議までとする。

9 参加負担金

- (1) 成年種別及び成年男女混合にエントリーするチームについては、1チーム20,000円とする。
- (2) 少年男女のチームについては、1チーム10,000円とする。
- (3) 参加負担金は、各都道府県連盟で取りまとめて2026年6月19日（金）までに下記の口座に振込みを完了すること。

振込先	(銀行名) ゆうちょ銀行 (支店名) ○一九店 (口座) 当座 418507 記号番号でのお振り込みの場合 : 00160-0-418507 (名 義) 公益社団法人 日本綱引連盟
-----	--

10 個人情報の取り扱いについて

参加申込書（同意書を含む）に記載された個人情報については、以下の青の煌きらめきあおもり国スポに関する業務に使用する。また、申込時点で本人の同意が得られたものとする。

- (1) 青の煌^{きら}めきあおもり国スポの参加意思及び参加人数の確認
- (2) 競技参加資格の確認（年齢、性別、所属、保護者の同意など）
- (3) 参加案内等の送付
- (4) 競技別プログラムの作成
- (5) 賞状等の筆耕
- (6) 競技の結果、映像、写真の記録業務への使用及び広報誌、インターネット等への掲載

11 その他

- (1) 組合せ抽選会は、公益社団法人日本綱引連盟の責任において実施する。
- (2) 代表者会議は、それぞれの種目が実施される当日に行う。
- (3) 参加者を対象とした傷害保険に加入する。



アップリートくん



ツバキちゃん

綱引のルール（競技規則）

■ 12人で1チーム・選手は8人



1チームの構成は、選手8人+交代要員2人+監督1人+トレーナー1人の計12人編成で競技にあたります。監督は選手が兼任してもOKです。

（国民スポーツ大会では、トレーナーを除く11人で編成されます。）

■ 主審の合図に従って「プル」



"Pick up the Rope"（ピックアップ ザ ロープ）の合図で選手は綱を持ち、
"Take the Strain"（テイク ザ ストレイン）で綱引の体勢に入り、
"Steady"（ステディ）"Pull"（プル）で試合が始まります。

■ オシりを床や地面につけたら反則



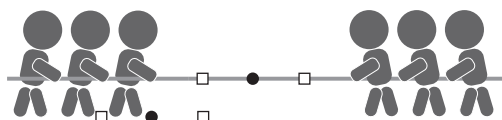
足以外の身体の部分が床と接触したり、床に座りこんだり、寝転んだりしたら反則。ストップしたままの状態でも綱を引き続けることも反則ですが、この場合、反則をした人は体勢を立て直し、反則状態から競技が続けられる状態に戻る努力をしないと反則が宣告されます。

■ ホットポジション・アンカー



チームの最後部に位置する選手はアンカーと呼ばれ、身体に綱を巻いたような持ち方をします。

■ 4メートル引っぱった方が勝ち



レーンマットに引かれた3本の線は、真ん中を「センターライン」、その2メートル離れた位置に引かれた線を「ホワイトライン（2メートルライン）」といいます。一方、綱にも3箇所の目印があり、センターマーク、2メートル離れた位置にホワイトマークがあります。

ホワイトライン（2メートルライン）とホワイトマークが重なる位置まで引くことで勝敗を競います。

綱引の歴史とオリンピック

綱引の歴史について

綱引競技の起源は、言うまでも無く世界各地で見られる様々な形での神事や、伝統行事としての「綱引」に諸資料からその源流を見ることが出来ます。

「綱を引く」と言う事は、世界各地で古代より儀式と信仰から始まり、豊作を祈る行事、争いごとを鎮める手段、領土を獲得する為のものなど、世界各地で様々な形態として見られます。

日本での「綱引」の歴史も古く、アジア諸国と同様、五穀豊穡や吉凶を占う儀式として各地で行われており、現在も日本の各地で伝統行事として様々な形の綱引が数多く行われています。

有名な綱引としては、北は秋田・大曲の大綱引、南は沖縄・与那原の大綱引など、いずれも豊作、豊漁を占う催事として行われ、現在でも多くの地域で伝統行事として引き継がれています。

神話の世界にも「綱引」は登場し、出雲風土記の「国引き」伝説などよく知られています。

このように、神事、伝統的行事としての「綱引」が世界の各地で引き継がれて現在でも行われています。形こそ異なりますが、そこには勝ち負けの判定が存在し、そのためには一定のルールが存在します。

日本で競技として行われたものとしては、飛鳥、奈良時代の蹴鞠、打毬、投壺と言った貴族の遊戯に端を発するとの事です。鎌倉、室町時代に入って庶民の遊戯が盛んになり、首引き、指引き、腕押しなどとともに遊戯として「綱引」が行われるようになりました。この様子は、室町時代の作品「洛中洛外図」や、名古屋城の襖絵などにその情景が描かれ、庶民の遊戯として親しまれていたものと思われます。

日本での「綱引」は、明治以降国内各地で行われるようになった運動会の普及とともに、体育的行事の種目として現在まで広く行われています。明治13年には明治天皇が、吹き上げ御所で近衛兵による「綱引」をご覧になったと言うことが、明治天皇行幸年表に記録されているとの事です。

綱引競技とオリンピック

ヨーロッパでスポーツが組織されるようになり、クーベルタン男爵により古代ギリシャのゲームにならってオリンピックが復活されました。"

この近代オリンピックが始まったとき、アスレチック競技(陸上競技)の種目に綱引競技が含まれ、1900年の第2回パリ大会から1920年のアントワープ大会まで行われていました。

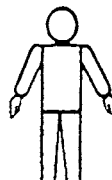
年	開催地	金	銀	銅
1900	パリ（フランス）	スウェーデン	アメリカ	フランス
1904	セントルイス（米国）	アメリカ	アメリカ	アメリカ
1908	ロンドン（英国）	イギリス	イギリス	イギリス
1912	ストックホルム（スウェーデン）	スウェーデン	イギリス	—
1916	中止（世界一次大戦）			
1920	アントワープ（ベルギー）	イギリス	オランダ	ベルギー

しかしながら近代オリンピックは、種目の増加、参加競技者の肥大化等が戦後の世界経済不況で問題化し、1920年を最後にI O C（国際オリンピック委員会）の投票により、綱引競技はプログラムから削除されました。

審判員のシグナルと反則

綱引競技を観戦する時のポイントとして、審判員の動作の意味がわかるとより楽しんで観戦できると思います。競技中によく見られる審判員の動作をいくつか説明します。

審判員のシグナル

号 令	ピック・アップ・ザ・ロープ Pick up the rope	テイク・ザ・ストレイン Take the strain	センター合わせ Rope to center	ステディ Steady	プル Pull
シグナル					
動 作	手の平を地面に向け、腕を体の前に伸ばす動作	両手の平を内側にして、頭上に伸ばす動作	片手で中央に寄せる必要のあるチームを招き寄せる動作	頭上に伸ばした両手の平を外側に返す動作	両手を振り下ろす動作

競技中の反則

(1) シットイング (Sitting)

故意に地面（床）に座った場合、又はスリップした後、直ちに綱引ポジションに戻れない状態。

(2) リーニング (Leaning)

足の裏以外の体の部分が地面（床）に触れた状態。

(3) ロッキング (Locking)

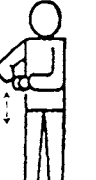
ロープの自由な動きを妨げるロープの持ち方。

(4) グリップ (Grip)

規定(規則第2の1、2)以外の握り方をした場合。

(5) プロッピング (Propping)

ロープが体と上腕部の間を通らず、かつ、腰部より下の位置で保持する状態。

号 令	シットイング SITTING	リーニング LEANING	ロッキング LOCKING	グリップ GRIP	プロッピング PROPPING
シグナル					
動 作	手の平を上にして、水平に左右に動かす動作	開いた手の平を地面（床）に向け、上下に動かす動作	持ち上げた腿に、肘を触れる動作	両手で握り拳（グリップ）を作り、前に出す動作	両手で握り拳（グリップ）を作り、身体に沿って持ち上げる動作

詳しくは、「綱引ガイドブック」に掲載しておりますのでご参照下さい。

◇ 選手名簿 少年男子 560kg Cブロック ◇

チームNo.	都道府県名	選 手 名			
C-1	青森県	監 督：宮川 章 公認スポーツ指導者：宮川 章			
		1	根戸内 豪	6	井戸端 優心
		2	杉本 小次郎	7	中嶋 慧斗
		3	小助川 京太郎	8	小助川 雅光
		4	中島 崇登	9	川口 壺琥
		5	張摩 陽斗	10	
C-2	大阪府	監 督：上甲 武 公認スポーツ指導者：上甲 武			
		1	長濱 仁大	6	宮田 晃奈
		2	矢岡 さくら	7	廣瀬 咲希
		3	宮崎 英達	8	西澤 愛葵
		4	藤岡 栞久郎	9	疇地 遼央
		5	数井 春	10	渡辺 權大
C-3	広島県	監 督：北谷 新一郎 公認スポーツ指導者：伊藤 剛			
		1	木村 公佑	6	小林 蓮
		2	野中 一達	7	谷敷 郁弥
		3	有田 知晃	8	水本 篤希
		4	木村 颯斗	9	石上 悠月
		5	川上 倖雅	10	

◇ 選手名簿 少年女子 480kg Dブロック ◇

チームNo.	都道府県名	選 手 名			
D-1	秋田県	監 督：高堂 昭清			
		公認スポーツ指導者：田中 忠夫			
		1	藤原 唯愛	6	児玉 未唯
		2	国塚 季衣	7	橋本 夏希
		3	村井 夢奈	8	保坂 莉乃亜
		4	飯塚 瑠璃	9	渡邊 真央
		5	桑原 理央	10	

◇ 選手名簿 成年男女混合 580kg Eブロック ◇

チームNo.	都道府県名	選 手 名			
E-1	青森県	監 督：宮川 章 公認スポーツ指導者：宮川 章			
		1	本山 憂也	6	氣仙 綾乃
		2	岡部 拓	7	根戸内 純子
		3	川口 雄也	8	畑山 直子
		4	熊澤 翔平	9	池田 智子
		5	宮川 章	10	中嶋 里美
		予備1	氣仙 海音	予備2	池田 惺蔦
E-2	鹿児島	監 督：庵地 優 公認スポーツ指導者：庵地 優			
		1	荒木 勝彦	6	市来 あずさ
		2	俣木 一成	7	迫 望
		3	毛賀澤 直希	8	岩下 瑠菜
		4	日高 祐也	9	梶原 智子
		5	中原 幸洋	10	有村 和津子
		予備1	尻無濱 淳一		
E-3	石川県	監 督：高野 徳人 公認スポーツ指導者：高野 徳人			
		1	山田 哲大	6	中原 正樹
		2	川上 憲代	7	安井 光恵
		3	本村 美幸	8	清水 貴也
		4	松本 和磨	9	辰島 加絵
		5	谷川 はるな	10	田中 総一郎
		予備1	山口 晃	予備2	中村 拓斗
E-4	福島県	監 督：蒔田 和江 公認スポーツ指導者：寺島 昭彦			
		1	佐々木 文男	6	阿部 里子
		2	菊地 隆	7	小野寺 文子
		3	安部 光博	8	山内 千種
		4	寺島 昭彦	9	三坂 美涼
		5	安部 鳳馬	10	
E-5	茨城県	監 督：伊藤 嘉博 公認スポーツ指導者：若林 清子			
		1	中澤 洋樹	6	中里 永季子
		2	大河原 彩華	7	白井 紅美恵
		3	安田 英文	8	伊藤 嘉博
		4	横江 佑美	9	紫関 智也
		5	若林 拓海	10	武田 諭季

◇ 選手名簿 成年男女混合 580kg Fブロック ◇

チームNo.	都道府県名	選 手 名			
F－1	山形県	監 督：小林 久 公認スポーツ指導者：小林 久・笹原 福子			
		1	小林 久	6	佐藤 桂子
		2	及川 良二	7	廣瀬 舞
		3	武田 利晴	8	笹原 福子
		4	廣瀬 克	9	
		5	押切 直美	10	
F－2	大阪府	監 督：川端 久美子 公認スポーツ指導者：山直 桂			
		1	金牧 かおり	6	山本 和弘
		2	山道 朋子	7	今中 優樹
		3	徳本 佳子	8	高橋 亨
		4	川端 愛里	9	坂本 清貴
		5	山直 桂	10	山本 音色
F－3	岩手県	監 督：塚澤 伸彦 公認スポーツ指導者：佐藤 眞由美・塚澤 伸彦			
		1	佐藤 眞由美	6	井野 俊英
		2	千葉 敦子	7	高橋 純
		3	加藤 淳美	8	水澤 博征
		4	高橋 美代子	9	高橋 雪子
		5	三橋 哲也	10	室野 努史
F－4	富山県	監 督：保々 稔 公認スポーツ指導者：小川 修世			
		1	馬場 高男	6	長守 三紀子
		2	矢留 佑樹	7	小田 富美枝
		3	出戸靖 啓三	8	内田 伸子
		4	吉川 鷹	9	吉村 正則
		5	政近 由香	10	秋田 夏葵

◇ 選手名簿 成年男子 600kg Aブロック ◇

チームNo.	都道府県名	選 手 名			
A-1	石川県	監 督：高野 徳人 公認スポーツ指導者：坂上 昇平			
		1	山田 哲大	6	中原 正樹
		2	切石 真仁	7	宮山 瑛一
		3	田中 総一郎	8	武田 浩一
		4	坂上 昇平	9	桑村 潤
		5	松本 和磨	10	清水 貴也
		予備1	山口 晃	予備2	中村 拓斗
A-2	福島県	監 督：鈴木 修三 公認スポーツ指導者：寺嶋 昭彦			
		1	佐々木 文男	6	鈴木 修三
		2	菊地 隆	7	安部 風馬
		3	安部 光博	8	廣瀬 克
		4	寺嶋 昭彦	9	
		5	木田 武宏	10	
A-3	青森県	監 督：小野 文大 公認スポーツ指導者：太田 進吾			
		1	川下 明生	6	立花 大輔
		2	鎌田 耕平	7	對馬 秀昭
		3	葛野 勝則	8	中條 達也
		4	太田 進吾	9	石田 元気
		5	滝沢 光秋	10	上小倉 良次
		予備1	小野 文大		
A-4	東京都	監 督：中田 昌伸 公認スポーツ指導者：会田 則行			
		1	清水 隆	6	宮下 直也
		2	会田 則行	7	須藤 大介
		3	持田 健一	8	秋田 桜也
		4	川田 和典	9	利光 祥吾
		5	柴田 隆	10	
A-5	宮城県	監 督：佐々木 茂人 公認スポーツ指導者：三浦 宅弥・内海 雅史			
		1	三浦 宅弥	6	高橋 厚浩
		2	佐藤 憲行	7	山内 桂
		3	遠藤 直人	8	日下 昭二
		4	中沢 健	9	山内 莉希
		5	内海 雅史	10	
A-6	埼玉県	監 督：亀岡 弘 公認スポーツ指導者：亀岡 弘・西垣 誠二			
		1	蔵 直哉	6	柳本 大勝
		2	西垣 誠二	7	大崎 創二郎
		3	柳田 龍馬	8	土井 崇弘
		4	福島 陸	9	吉田 圭汰
		5	岡田 実	10	関野 崇晃
		予備1	緒方 康彦	予備2	星野 楓
		予備3	白川 洋輔	予備4	菅 瑠晟

◇ 選手名簿 成年男子 600kg Aブロック ◇

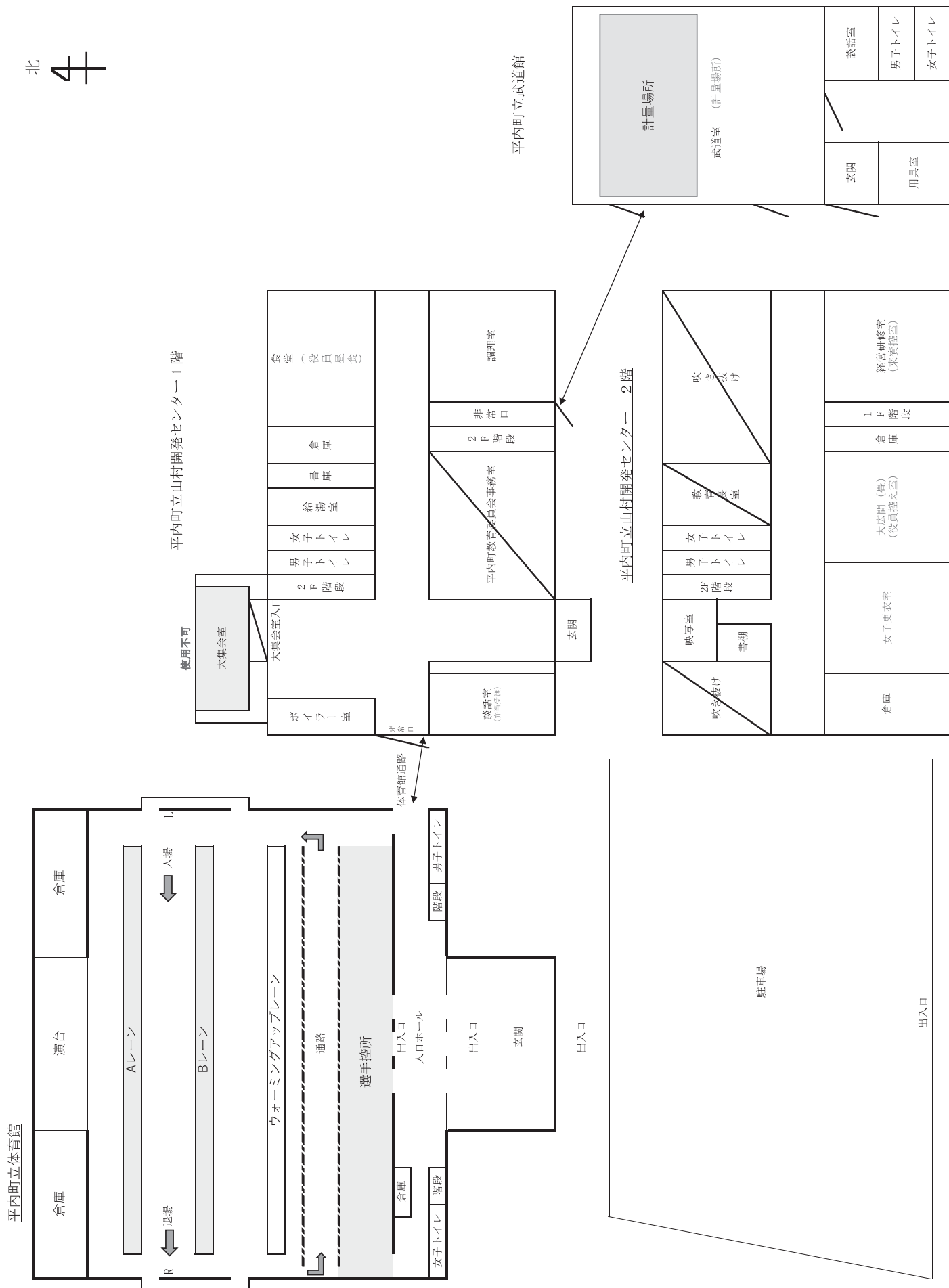
チームNo.	都道府県名	選 手 名			
A-7	秋田県	監 督：津嶋 充			
		公認スポーツ指導者：木越 勉			
		1	奈良田 誠	6	木越 勉
		2	虻川 昌寿	7	上村 清悟
		3	渡部 幸男	8	相馬 昌幸
		4	安保 透	9	高橋 二美
		5	近藤 博和	10	佐藤 英明

◇ 選手名簿 成年女子 500kg Bブロック ◇

チームNo.	都道府県名	選 手 名			
B-1	福岡県	監 督：濱尾 一寿 公認スポーツ指導者：田中 奈苗			
		1	田中 奈苗	6	川崎 純子
		2	石津 佳子	7	内藤 洋子
		3	森田 貴子	8	園田 音々花
		4	田中 康予	9	中島 裕美
		5	池田 愛	10	
B-2	岩手県	監 督：鎌田 知穂 公認スポーツ指導者：佐藤 奈穂子			
		1	山内 千草	6	佐藤 美沙子
		2	田野 千佳子	7	畠山 久美子
		3	佐藤 奈穂子	8	菅原 範子
		4	杉原 恵美	9	鎌田 志緒里
		5	晴山 和美	10	宮田 英恵
		予備1	魚住 早紀	予備2	佐々木 津奈子
B-3	神奈川県	監 督：平 可子 公認スポーツ指導者：尾崎 恵子			
		1	井伊 亜紀子	6	井上 浩美
		2	高山 祐梨子	7	恵谷 登喜子
		3	宮川 直美	8	鈴木 和恵
		4	平 可子	9	宿本 直子
		5	尾崎 恵子	10	佐藤 彩夏
B-4	秋田県	監 督：塚澤 伸彦 公認スポーツ指導者：塚澤 伸彦・佐藤 眞由美			
		1	高橋 雪子	6	佐藤 眞由美
		2	高橋 美代子	7	加藤 淳美
		3	大井 恵美子	8	築瀬 智佳
		4	千葉 敦子	9	佐藤 奈緒美
		5	水澤 多佳子	10	佐藤 まゆみ
B-5	石川県	監 督：高野 徳人 公認スポーツ指導者：高野 徳人			
		1	川上 憲代	6	中川 恵梨沙
		2	辰島 加絵	7	安井 光恵
		3	本村 美幸	8	藤田 幸子
		4	谷川 はるな	9	永田 裕美
		5	濱村 真由	10	桑村 彩香

◇ 会 場 図 ◇

北





勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち
スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りようかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには
「いかなる理由でも、指導者・
コーチによる不適切な行為は
あってはならない」
とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書》》



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組めます。

- ・大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ・研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ・SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ・盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ・SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ・匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▶▶▶▶▶ 56TH ▶▶▶▶▶ 2026



スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、
スポーツを愛する人たちを応援しています。



公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

競技会場地マップ

Venue map

国スポ	正式競技(37)	特別競技(1)	公開競技(7)	デモンストレーションスポーツ(39)	冬季正式競技(3)
障スポ	正式競技(14)	オープン競技(3)	(身)身体障がい者が出場できる競技 (知)知的障がい者が出場できる競技 (精)精神障がい者が出場できる競技		

東青地域

青森市

- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳(競泳)
- 水泳(水球)
- 水泳(アーティスティックスイミング)
- 水泳(オープンウォータースイミング)
- テニス
- バレーボール(6人制)
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃(25m)
- ラグビーフットボール(15人制)
- スポーツクライミング(リード・ボルダー)
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン

平内町

蓬田村

今別町

外ヶ浜町

中泊町

五所川原市

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

弘前市

西目屋村

大鰐町

平川市

黒石市

田舎館村

青森市

鶴田町

五所川原市

中泊町

つがる市

鰺ヶ沢町

深浦町

板柳町

競技記録・結果

2026 AOMORI 青の煌めきあおもり国スポの競技結果をご案内します。

PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS26/index.html>

フィーチャーフォン（ガラケ）

<http://kirokukensaku.net/5NS26/mob/index.html>



PC・スマホ



フィーチャーフォン
(ガラケ)



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

第80回国民スポーツ大会 青の煌めきあおもり国スポ平内町実行委員会